



開院当時病院全景(昭和26年当時)



新築落成(昭和26年9月)

地域のみなさまに支えられて60年

西伯病院のはじまり

西伯病院は、昭和26年10月に『地域の皆さまが安心して医療が利用できるように』との願いから国民健康保険法勝寺村ほか4ヶ村一部事務組合直営西伯病院として、現在地に設立されました。当時の建物は兵舎の払い下げによる木造を改築したもので、病床数22床、職員数16名、診療科3科(内科、外科、産婦人科)でスタートしました。

昭和27年には結核病棟新設、翌年には伝染病棟併設、その後精神科、

小児科、整形外科、耳鼻咽喉科など、地域の皆さまからの西伯病院に対するご要望にお応えしながら、診療内容の充実と施設の増改築、設備の充実を図ってきました。

地域に愛され信頼される病院を目指して

平成18年3月には、『地域住民への安心の提供』を理念として掲げ、在宅・メンタル・ITを病院運営のキーワードとした念願の新病院が完成しました。

新病院では、通所・訪問リハビリ等を充実させて在宅での生活を支援し、メンタルでは精神科医療、認知症対策、緩和ケアに注力し、ITでは電子カルテの導入、鳥取大学医学部附属病院との電子カルテの相互参照システム(おしどりネット)など最新技術を導入してきました。

本年10月、西伯病院は60年の節目を迎えます。7月には5代目院長に、木村修が就任し、さらに身近な自治体病院として安心して利用していただけの病院づくりを目指しています。

西伯病院60周年記念式典開催

60周年を記念した行事を開催します。
みなさまのご参加をお待ちしております。

◆60周年記念式典

- 日 時 / 10月15日(土)
午前10時～12時30分
- 場 所 / ふるさと交流センター(福成)
- 記念講演 / 鳥取大学医学部
学部長 豊島 良太氏
「足腰の健康と寿命
—元気に歳を重ねるために—」

◆地域医療フォーラム

- 日 時 / 11月6日(日)
午前10時30分～11時30分
- 場 所 / 西伯病院 屋外ステージ
- テーマ / 「皆が安心して暮らせるための
地域医療をめざして」



【お知らせ】

平成24年3月に「60周年記念誌」の発行を予定しています。



第2病棟新築(昭和60年9月)



思い出街道



新築時(平成18年4月)